

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



永田 旬くん
(令和4年6月生まれ・宮前町)
あんよもとっても上手になったね。元気で大きくなってね
(父：真大、母：純子)

中村 優心くん
(令和2年9月生まれ・山田)
Forever our treasure♡
(父：和明、母：樹季)

塚原 蓮くん
(令和2年8月生まれ・諸川)
パパと一緒に散歩、休憩中♡
(父：直樹、母：由美)

深井 紫佑くん
(令和3年10月生まれ・上辺見)
いつもここに優しいしゅうちゃん♡だいすき♡
(父：康佑、母：里歩)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください♪



わたしの夢

優しい幼稚園の先生に 松尾菜央さん 中央小学校6年生

私の夢は、幼稚園の先生になることです。小さい子が好きな私は、6年生になって1年生とよく遊ぶようになりました。1年生の笑顔を見ていると、気持ちがいやされ、とても楽しく過ごせます。私も1年生の時に6年生のお姉さんに遊んでもらって、楽しかったことを思い出しました。

幼稚園の先生になったら、みんなが楽しいと感じてくれるような優しい先生になりたいと思います。



キラリ 古河ビト

水彩画の温かさを伝えたい

水彩連盟展文部科学大臣賞受賞

樋口三千代さん75歳・雷電町

第82回水彩連盟展で文部科学大臣賞を受賞した樋口さん。古河街角美術館で開催中の第14回古河現代美術展にも作品を出展しています。今後、さらなる活躍が期待される樋口さんに、水彩画に対する思いやこれからの抱負などについて伺いました。

幼い頃から絵を描くことが大好きだった樋口さん。鑑賞することも好きで、学生時代には美術館や展覧会に出向き、さまざまな作品に触れ刺激を受けていたそうです。結婚後は絵を描くことから離れていましたが、子どもの独立を機に再開し、古河市民文化祭などに作品を出展し始めます。恩師である柳田昭先生に出会ったのもこの頃。都内の展覧会で交流した際に、先生も県内に住ったことから師事し、本格的に水彩画を学び始めました。15年ほど前からは県の展覧会などに出品し、さまざまな作品と向き合ってきました。水彩画は油絵とは違い、一度濃い色が付くと塗り直しが難いため、頭の中で構図を練ってから描き始めるそうです。イメージを形にすることは大変な反面、やりがいも感じると言います。作品は、普段の生活の中で見たものや感じたことが中心です。見た人が、自分の絵に宿る生命力や躍動感を感じ取ってくれたらうれしいと話してくれました。

現在は、市内の水彩画教室の講師としても活躍する樋口さん。「人間性や感情が出る手描きの良さや温かさを伝えたい」と語ります。これからも水彩画の魅力を広めていきたいと朗らかな笑顔を見せてくれました。

第14回古河現代美術展

展示期間 11月5日(日)まで
時間 9時～17時
(最終日は16時まで)
場所 古河街角美術館
問 古河街角美術館
TEL22-5911



▲作品名「一途に咲く」



▲色を濃く塗る水彩画も描きます